

事業所名		子どもの森療育のおへやすまいるサロン成瀬		支援プログラム		作成日 2025 年 5 月 1 日	
法人（事業所）理念		・お子さんの特性や興味関心に寄り添い、人との関り方や大人から学ぶ姿勢を一人ひとりの発達に合わせながら支援していきます。 ・お子さん、ご家族の気持ちを受け止め、相談しやすく安心できる環境を提供していきます。					
支援方針		・お子さんの得意、苦手を理解し、一人ひとりに合ったわかりやすい環境を提供していきます。 ・自分でできた達成感や自己肯定感を積み重ね、自信に繋げていきます。					
サービス提供時間		①午前の部 9：25～11：05 ②午後の部 13：25～15：05		送迎実施の有無		なし	
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・健康状態を家庭と連絡帳などを使用してやり取りをしていく。 ・わかりやすい環境を整える支援を実施していく。（構造化やパーテーション、スケジュールを使用するなど） ・生活スキルの獲得ができるような活動を取り入れていく。（着脱、衣類畳、雑巾絞りなど） ・避難訓練をグループ内で実施していく。					
	運動・感覚	・個々の障害特性に合わせた活動を行い、出来る体験を積み重ねていく。 ・始まりの会、帰りの会を実施し、姿勢保持や注目する姿勢作りを行っていく。 ・身体を大きく動かす動作（粗大運動）、手先を使う活動（微細運動）などを行っていく。 ・感覚特性に合わせた配慮を行っていく。（パーテーションの使用、場を分ける、環境調整など）					
	認知・行動	・個々に合った支援を行い、自分でできた達成感を得られるよう環境設定を行っていく。 ・自分でわかって行動したり活動に参加できるよう、スケジュールや手順、順番、ルールなど本人がわかる方法で伝えていく。 ・自信を持って生活できるようわかりやすい言葉掛けや視覚支援などを取り入れていく。					
	言語 コミュニケーション	・言葉だけでわかりにくいときは視覚支援（写真カードやイラスト、具体的に使用するものなど）を見せて伝えていく。 ・相手に向かって思いや気持ちを伝えることができるようヒントを提示していく。（手伝ってカードなど） ・絵本や歌などを取り入れ、言葉の獲得や聞く力を育てていく。					
	人間関係 社会性	・社会的なマナーやルールなど本人のわかる方法で伝え活動などに取り組めるよう環境設定をしていく。 ・人から学ぶ姿勢づくりを大人と1対1で行っていき新しいことや苦手なことを経験していく。 ・あそびや活動の中で他児とやり取りをし、社会性を促していく。 ・自己肯定感を育めるようスモールステップで成功体験を積み重ねられる環境づくりを行っていく。					
家族支援		・親子での通所を実施する。（支援の様子をその場で確認したり、家庭でも取り入れることができるよう説明をしていく。） ・家庭訪問、発達や特性理解に向けた相談援助などペアレントトレーニングを行っていく。 ・連絡帳で療育の様子や相談事などのやり取りを行っていく。		移行支援		・保育園や幼稚園での生活への支援としてご家族の依頼に応じて訪問を行っていく。 ・保育園や幼稚園の先生方に当事業所に来所していただき、支援の見学や情報交換を行っていく。	
地域支援・地域連携		・移行支援と同様に行っていく。 ・相談支援事業所、教育委員会、発達支援センターとの情報共有や連携をしていく。		職員の質の向上		・外部研修、事業所内研修（虐待、身体拘束、BCPなど）、ケース検討、支援会議、人材育成（OJT）などに取り組んでいく。	
主な行事等		・季節に合わせた制作や活動を実施していく。 ・避難訓練を実施していく。					